

戦 評 用 紙

平成26年度関東高等学校バスケットボール大会
埼玉県予選会

平成26年5月17日

会 場 越谷市立総合体育館

Fコート第2試合

対 戦	川口北 高校	19	—	20	昌平 高校
	70	11	—	14	67
		23	—	8	
		17	—	25	

第1P 関東大会出場を決めた両チームの戦い。ピックセンターを擁する昌平か、埼玉選抜のガードと双子のコンビネーションが面白い川口北との準決勝。お互いハーフコートマンツーマンディフェンスで始まり、昌平は序盤#6#7の3本の3pとピックセンター#15のリバウンドシュートで得点を重ね、ゲームを優位に進める。川口北は持ち前の小気味いいパス回しからの合わせや、#6のドライブについて行き、ゴール下では昌平#15に支配されるも、2本のインターセプトで速攻を決め、追いつく。20-19昌平1点リードで終了。

第2P 両チーム共に激しいディフェンスを頑張り、得点が伸びずに重苦しい展開が続く。昌平は#7#15のリバウンドシュートなどでゴール近くで得点し、一方川口北は#13#6の外からのシュートでつなぐ。川口北は昌平#15をゴール下で3人で囲み、速攻やピックマンを外に連れ出してからのドライブなどで戦うが、昌平は#7の2本目の3pなどバランス良く得点を重ねる。昌平#4が4つ目のファウルを犯すが、ドライブを決めて30-34昌平リードで前半終了。

第3P 昌平は#6#7の3pで始まり、引き離すようにみえたが、川口北の#11#13双子の早いパス回しや#6の速攻などで食らいつくと、ハーフコートでのダブルチームからの速攻を連続3本続け、逆転に成功する。お互いベンチメンバー同士となり、川口北#4が負傷してベンチに戻るなど、目まぐるしい展開となったが、川口北が#6の2本の3pを含めよく走り、53-42川口北が逆転し終了。

第4P 11点ビハインドの昌平はゴール下で#15#6が合わせ、川口北も#11#4が合わせて追いつかせない。ここから昌平#7がこのピリオドだけで4本の3pを決め、ゲームを振り出しに戻す。残り40秒1点差に追いつかれたところで川口北がTO。マイボールスローインからショットクロックギリギリまでパスを回し合わせ、最後に#4が意地のジャンプシュートを決め3点差。残り12秒昌平TO後のスローインから最後の3pシュートもブロックされ、残り2秒川口北スローインからボールを投げ上げ、試合終了。70-67で川口北が逆転勝利した。(記録者： 草加西高校 伊澤 暁)